

選択〔No. 3〕

問 B. 近年, i-Construction の推進によって, 三次元点群データの活用が広がっており, 公共測量においても, 三次元点群データの取得に当たって無人航空機 (以下「UAV」という。) や航空レーザ測量システムを使用する場面が増えてきている。次の各問に答えよ。

問 B-1. UAV を用いた測量を行う際は, 使用する UAV 機器の性能などの確認や撮影前後の点検を実施し, UAV の飛行に関する関係法令を遵守して安全運航に努めなければならない。次の a ～ b は, 公共測量において, UAV 写真点群測量を実施する際の UAV が有すべき性能について, c ～ d は UAV の飛行に関する関係法令について述べたものである。

～ に入る最も適当な語句はどれか。次の語群から選び解答欄に記せ。

- a. 撮影に使用する UAV は, 撮影時の環境変化に影響を受けずに安定して飛行できるよう, 機能及び異常時の自動帰還機能を有すること。
- b. 撮影に使用するデジタルカメラは, レンズの焦点距離を自動調整したり, レンズのブレ等を補正したりする自動処理機能を ものであること。
- c. UAV の飛行の手続についての関係法令は, (昭和 27 年法律第 231 号) や重要施設の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律 (平成 28 年法律第 9 号) などがある。
- d. 空港等の周辺, 地区, 地表又は水面から 150 m 以上の高さの空域などに UAV を飛行させる場合は, あらかじめ飛行許可申請の必要性を確認し, 必要な手続を行う。

語群

解除できる	空港法	航空法	手動飛行
準人口集中	常時利用する	自律飛行	人口集中

<次のページに続く>